

◆大学生向け 90分授業 スケジュール

時間	内容	予定記入欄	例：協働のための コミュニケーションスキル	備考
0	授業の中での位置づけ説明 90分の中の流れを説明 画材等の配布		・「絵を描く」ことは 「VISIONを描く」こと ・非言語での共有、目的の共有化の重要性	
10	導入：5分間絵しりとり	同左		・絵を描くことへの心理的ハードルをさげる
20	SDGs、環境教育の視点		・「自分も人も社会も自然も幸せな未来」	・絵を描いていく上での前提の共有
30	動画視聴	同左	・循環型のくらしの視点 ・伝統的な知恵と新しい技術の視点 ・人、自然との関係性の視点	・動画を流しながらテーマにそった視点での解説をいれる
40	動画視聴つづき、 補足情報提示、ワークの説明	同左	・「未来暮らし」等、様々なキーワードでの検索での補足 ・お助けシート	・「わたなべ家」にとらわれることなく幅広い価値観を提示する ・絵を描くことのハードルをさげる
50	ワーク：10年後の未来を描く	同左	・状況をみながら補足コメント (色を入れましょう等)	・各人のペースを尊重
60	ワーク：10年後の未来を描く	同左		・各人のペースを尊重
70	描いた絵の共有	同左	・小グループ（5～6人）での共有	
80	気候危機関連の情報提供、 概念提示、質疑等		・「八ヶ岳田んぼの学校」では、 まず絵を描いて事業イメージを共有した ・企業とNPO 協働のための5か条 ・COOL CHOICE等の紹介	・参考となる情報や活動等の紹介
90	終了			

※このシートは、大学等での90分の授業を想定したサンプルモデルです。

※参考例は「協働のためのコミュニケーション・スキル」での例です。各授業内容のテーマに合わせて、ご活用ください。

黄色の部分はこの授業案の柱となる部分で、その前後をどう位置付けるかで、各授業テーマであつかうことができます。

※山梨県地球温暖化防止活動推進センター事業として、山梨県内であれば現地及びオンライン、

県外ではオンラインでの実施が可能です。詳細はセンターへご相談ください。

※授業の実施のご相談も随時受け付けています。eco@keep.or.jpまで お問い合わせください。